



# みのり

第86号

**経営理念** 私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

## 花のように“優しく 誠実に”

### 雑感 (静かなツバメに学ぶ)



巣の中で親を待つ雛

ようなツバメの行動がありました。玄関に出ると、電線に止まり、見張っていたと思われるツバメが、周辺を回遊しながら甲高く、ピーチクと鳴きつづけるのです。当初はそれを不自然とは思わず、見過ごしていたのですが、途中から一羽のツバメが私をめぐって滑降してくるのです。一度ではなく何度も。少し怖いと思うほどです。

家に巣をつくるツバメは、人間には慣れていていると思っていたのですが、初めての体験です。たまごのからは、もしかしてカラスのせい？

そういえば近くの電線に泊まっていたカラスの姿も見かけたこともあるが？または近隣に住むねこ？いろいろと考えてみた

今年もツバメの巣作りが、行われほつとして、見守っていたところですが、今年には異変がありました。自宅玄関の古巣が作られていた処より離れた奥のほうに巣をつくりはじめたのです。巣はまたたくまにできたのですが、なぜか雛がくちばしを大きく開けて餌を求めてピーチクと鳴く姿が無いのです。糞は落ちてはいるが少々。卵の殻も一緒に落ちています。これは何か違うなと思っていたところ、今までに無い

けれどもその証拠はなし。一月以上もたつが、雛の声なし。しかし親は毎回餌をくわえ、巣へと。何を思うか親心。今年はやはり異常なのだろう。

カラス等も餌が無いのでしょうか。しかしいつの日か、鳴き声はないが、鳥の糞だけは、いやに多くなってきた。何羽いるのかわからぬが、巣より雛がオシリを出しておるところも発見。巣の下に敷いた糞よけのシートを片付けて新品に交換。

まもなくその糞も巣より落ちることが無くなったと思いきや、巣の周辺は、親鳥も来なくなり、巣だけを残し、静けさが取り戻され、日ごろの生活に戻ったのでした。何羽巣立っていったのか、わからぬままであったが、とにかく人間に迷惑を掛けずに無事に巣立っていったのでした。本当に時の経つのが早いツバメの巣立ちでした。生きるたくましさを見せつけられ、教えられました。

自然界もこのツバメと同様に、人類に対して猛威を奪い、東北の震災に続き、各地への集中豪雨、河川の氾濫等々、猛然と襲い掛かってきております。

どうか穏やかな世界が戻るよう人類も自然に対して原点に戻り敬虔さを失わないよう一生懸命生きていく他ならないのです。

## 86号掲載内容

雑感	1P
つつじ祭り他(本部)	2P
交通講話他(本部)	3P
入社式・新人紹介(本部)	4P
日出部	5P
杵築部	6P
高齢者福祉部	7P
収支決算報告概要	8P
ありがとう	

# 第29回 つつじ祭り開催

恒例の「みのり村つつじ祭り」が杵築部で五月晴れの中、たくさんのご来場者がお集り頂いた中、盛大に開催致しました。オープニングで大木理事長より挨拶。続きまして御来賓の八坂市長、後藤日出支援学校校長、八坂野田区長よりご挨拶をいただきました。今回のテーマは「絆 つなげる明るい笑顔」です。メインステージではご利用者、ボランティアの方々による日頃の活動発表、お楽しみコーナーではシャボン玉、輪投げ、作品展等、散策コースは銀杏並木↓三重の塔↓つつじ公園のコース。ご来場者の皆様は自然の樹々の中、さわやかな風を浴びながら楽しいひと時を過ごされました。ありがとうございました。



賑わう販売コーナー

お見事です！腹話術



ご利用者さんの作品展

八坂杵築市長挨拶



# ワークセンター「誠」開所

四月五日障害福祉サービス事業所ワークセンター「誠」の開所式が関係者、ご利用者様が出席して行われました。大木理事長の挨拶につき、杵築市役所障害福祉課宮川課長より、ご利用者の皆様に「仕事をして嬉しかった」と感じてもらいたいと感じて下さい」とご挨拶されました。ご利用者を代表して南金山さんから、力強い決意表明があり閉会しました。また開所式と並行でホイロローダーとトラクターの安全祈願式も行われました。就労継続支援B型事業所ワークセンター「誠」(定員二十名)内では、パン、クッキー、四季折々の花の苗、有機堆肥、BDF等の生産販売を行います。今後利用される方々のニーズに応じた支援が出来るよう日中活動の充実に努力してまいります。

後藤



ご家族を招待、誕生会



理事長挨拶



パン工房実習(パン、クッキー)



「誠」で働くご利用者の方々



決意表明をする南金山さん

### 平成24年交通講話行われる

今年も交通安全を祈願し、日出部と杵築部でそれぞれ署から講師をお迎えし、最近の交通事故の状況及び原因についてスライドを用いて分りやすく解説いただき、交通事故を起こさない為の注意点などを学びました。

交通事故は、誰もが被害者・加害者になる可能性があることや、交通ルールを守ることが自分自身の命を守ることになることなどを再認識させられました。

また今回の講話は更に職員一人ひとりの交通安全に対する認識向上に役立つ大変有意義な講話となりました。



交通講話の様子(杵築部)

### 「仕事と子育て両立」支援モデル事業に指定

大分県より、従業員の仕事と子育ての両立を支援する本年度のモデル企業に五社の内一つに指定されました。

山本和徳商工労働部長より大木理事長に指定証が交付され、「ワークライフバランスの推進は企業の生産性や効率性の向上、温かい雰囲気づくりにつながる。他

企業の模範となつてほしい。」とあいさつをされました。意見交換会があり法人の取り組みや抱負を述べました。



指定証交付式

### 福祉QC

### 研究発表会開催

「第十一回みのり村福祉QC研究発表会」が杵築部の菩提樹ホールで行われました。今回は初めて福祉QC手法を取り入れ、五サークルが各職場における、日頃の業務諸課題への取り組み状況及び、支援・介護業務に関する研究成果を発表しました。今後は、さらに福祉サービスの質の向上を目指すことを誓い閉会しました。



### ホームヘルパー2級

### 養成研修講座開講

大分県知事より指定を受けた介護の資格「ホームヘルパー2級養成研修講座」の開講式が七月八日にありました。資格を取得すると、介護を必要とされている方の自宅を訪問し、ホームヘルパーとして調理や買い物、入浴介助などを行うことが出来ます。十六名の受講生の方が、医療・福祉の勉強をしながら、ホームヘルパー2級の資格取得を日・水曜日の講習で十一月迄実施し卒業を目指します。



開講式で挨拶をする理事長

### 平成23年度 障がい者自立支援基盤整備事業により、白萩園は

ホイールローダーとトラクター、白百合園はシャワートロリー(特殊浴場)とシャワーキャリー(介助用いす)を整備致しました。

白萩園ではホイールローダーとトラクターで製品の生産量をアップさせ、ご利用者さんの工賃アップに繋がられる様に活用したいと思えます。

特殊浴場と介助椅子は、施設のご利用者さんに快適にお風呂に入って頂けるようになります。スタッフも腰痛予防になります。



シャワートロリー、シャワーキャリー



トラクター、ホイールローダー(右)

# 平成24年度入社式

4月2日 平成24年度の辞令交付式が本部でありました。大木理事長より当法人の経営理念、スローガンについて説明があり、一人ひとりに辞令が手渡されました。



理事長から辞令を受ける新入社員

## 平成24年度 新人紹介



### 安藝 義隆 総務企画課

- ◆出身地：別府市 ◆愛媛大卒
- ◆趣味：スポーツ全般、釣り、音楽鑑賞、ネット
- ◆抱負：福祉関係の仕事は全くの素人ですが、1日も早く周りの人達のお役に立てるよう努力していきますので、どうかこれから宜しくお願いします。



### 有次 早苗 第1みのり学園

- ◆出身地：国東市 ◆大分大卒
- ◆趣味：ドライブ、ツーリング、手芸
- ◆抱負：利用者さんの気持ちや希望がしっかり聞ける職員になりたいと思います。“ホッ”と安心できる職員を目指して笑顔でがんばろうと思います。よろしくお祈りします。



### 三重野愛美 白萩園

- ◆出身地：別府市 ◆別府大卒
- ◆趣味：読書、絵を描くこと
- ◆抱負：常に笑顔心掛け、利用者さん、職員、保護者の方々と関係を大切にしていきたいと思っています。



### 安部 聡美 白百合園

- ◆出身地：別府市 ◆西南女学院大卒
- ◆趣味：旅行、音楽
- ◆抱負：積極的にご利用者様とコミュニケーションをとり、先輩職員方から沢山学び、信頼していただける支援員になれるよう、頑張ります。よろしくお祈り致します。



### 森 真由美 菩提樹

- ◆出身地：国東市 ◆別府大学短期大卒
- ◆趣味：ソフトバレー、買い物
- ◆抱負：私は、ショートステイのユニットで働かせていただいています。日々の業務を一つひとつ丁寧にし、利用者様が安心して快適な生活を送れるように頑張りたいです。



### 佐藤 倫子 菩提樹

- ◆出身地：別府市 ◆別府溝部短期大卒
- ◆趣味：音楽鑑賞
- ◆抱負：まだまだ未熟で、分からないことがたくさんありますが、利用者様に対して謙虚な気持ちと笑顔を大切に、一生懸命頑張っていきたいと思っています。



### 川井未紗希 菩提樹

- ◆出身地：杵築市 ◆別府大学短期大卒
- ◆趣味：映画鑑賞
- ◆抱負：毎日、1つ1つの事を確実に覚えていけるように努力していきたいと思っています。そして、明るい笑顔で利用者様の方々と楽しく過ごしていきたいです。



### 峰尾 友香 菩提樹

- ◆出身地：杵築市 ◆別府溝部短期大卒
- ◆趣味：ドライブ、カラオケ、エイサー、DVD鑑賞
- ◆抱負：社会人として初めての職場で、不安でいっぱいですが、今自分ができる事や、これから学ぶさまざまなことを活かし、職場の先輩達のように、自信を持って頑張ります。



### 陶山 奈菜 菩提樹

- ◆出身地：臼杵市 ◆別府溝部短期大卒
- ◆趣味：運動すること
- ◆抱負：希望する配属先に入れたので、まずは業務の流れをきちんと把握してなれるように頑張ります。利用者さんの気持ちに寄り添える介護福祉士になりたいです。



### 鹿島裕理子 第2みのり学園

- ◆出身地：国東市 ◆西日本短期大卒
- ◆趣味：音楽鑑賞
- ◆抱負：まだまだ未熟者ではありますが、真摯な姿勢で利用者さんと向き合い、信頼関係を築いていきたいと思っています。そして今自分にできることに精一杯頑張りたいです。



所 属	氏 名	資格名
第1みのり学園	大木 昌太郎	社会福祉士
菩 提 樹	加口 亜衣	介護福祉士
菩 提 樹	宮園 洋美	介護福祉士
デイサービスセンター「風と樹々と空と」	三枝 絹美	介護支援専門員

# 新しく広くなった作業場に移動

みのりスマイルでは事業の拡大に伴い、現在施設内での作業場が手狭だったことから、改築した作業場「さくらワークルーム」に移動しました。この作業場は更衣室、トイレ、洗い場、大小多数の棚等、ご利用者の皆さんが快適に就労できる環境を整えています。



さくらワークルーム入り口



さくらワークルームでの作業

# 出前県議会にて障がい福祉部が活動報告

二月二十日 県議会は、『開かれた県議会』を目指して議員が県内各地に出向き、県議会の活動について情報を提供するとともに地域の現状や課題・取り組みなどについて県民と直接意見を交換を行い、県政に反映させることにより地域振興に寄与することを目的とした出前県議会

が日出町川崎のホンダ太陽株式会社日出工場で行われました。

東部地域の県会議員や、関係常任委員長、来賓の方が集まる中、町内にある障がい者に関係のある機関が発

表を行いました。

ホンダ太陽株式会社、源泉寮、ナザレトの家、日出支援学校ら六機関とともにみのり村日出障がい福祉部から「障がい者の生活と就労について」と言うテーマで、施設の生活や就労の様子・地域参加の状況などについてチーム(四名)としてパワーポイントを使い発表を行いました。二時間余りと言う短い時間でしたが、いろいろな意見や要望も出され、有意義な発表の場となりました。

終了後にはホンダ太陽の工場内の見学もさせていただきました。本格的な福祉的配慮の行き届いた工場内の様子を案内していただき日ごろ気がつかない細かい点などにも気づかされ勉強になりました。貴重な体験となりました。

みのりスマイル 主任 古庄

# 「就労支援の取り組みと課題」で発表

六月二十八日、平成二十四年度大分県知的障害者施設協議会主催の職員研修会が杵築市住吉浜リゾートパークで開催され、みのりスマイルの主任補佐清原和典氏が「新法移行に伴う就労支援の取り組みと課題」のテーマで発表を行いました。

施設の概要、作業の紹介、利用者支援における取組、工賃向上に向けた取組などを報告しました。当研修会は障害者支援従事者としてより充実した質の高い支援を実施していくために、大分県知的障害者施設協議会が毎年行なっています。

# 福祉QC活動の発表をおえて

二月二十五日大分県総合福祉会館にて、平成二十三年度大分県知的障害者施設協議会職員研修会があり、白百合園が約一年間実施した福祉QC活動をまとめ、「施設におけるチームワークよりよい支援のために」をテーマに発表しました。

今回は、利用者さんがさらに充実した生活ができるようになるにはどうすればよいかを考え、食事を楽しんだり、全身疾患の予防につながる口腔ケアの一環として、歯みがき支援を取り上げました。

参加施設にかかわる支援でもあり、みなさんに興味をもって聞いていただけました。また、チーム全員で同じ目標にむかって取り組むことが、よりよい支援につながることを再確認することもできました。今後よりよい支援のために自主的に課題を見つけ、積極的にQC活動を行いたいと思います。

後藤 美樹

# 日出部駐車場の整備が完了しました

二月、日出部に職員用の駐車場(千坪弱)が整備されました。場所はみのり学園の南側で、みのりスマイル作業場の近くになります。今回の整備完了により、みのり学園敷地内に駐車していた車が移動したことで、車両の出入りが減少し、敷地内の安全が今まで以上に確保されました。



整備が完了した「日出部職員駐車場」



白百合園の発表

# 「ホイロローダー」 「トラクター」 安全祈願式



トラクター(手前)とホイロローダー

障がい福祉サービス事業所「ワークセンター」の開所式と並行で、「平成二十三年度障がい者自立支援基盤整備事業」で整備された「トラクター」・「ホイロローダー」の安全祈願式が行われました。村の広大な敷地のなかで、農場などあらゆる作業で活用が期待できます。



ホイロローダーの実演

シヨベルのうち、車輪で走行するものです。土砂などをダンブカーに積み込む時に使われる機械であり、油圧シヨベルより一度に多量の土砂を積み込むことができます。

## 個別支援計画勉強会

障害福祉部で個別支援計画作成についての内部研修を行いました。日出部と杵築部のサービス管理者資格を取得し、現在サービス管理者として従事している職員と施設管理者が参加し、勉強会が行われました。

研修の目的は、サービス管理者としてのスキルアップと情報交換等を通しての事業所間の連携にあります。

個別支援計画の作成様式は、事業所毎に独自性を持っています。基本的な作成手順を参考にしているので大きく異なることはありませんが、基本的な部分で間違っている所や不備な点はないか。などを事業所間で検証しました。

個別支援計画は、利用者・家族の希望、意見を重視します。あくまでも利用者本人(家族)が主体となります。勉強会で検証する中で、インターネットからサービス提供までの過程で、事業所間の捉え方に違いがあることに気付きました。

平成二十四年度より、三年計画で個別給付を受ける人を対象に、サービス等利用計画を作成することになり、個別支援計画については、サービス管理者が、サービス等利用計画における総合的な援助方針等を踏まえ、当該事業所が提供するサービスの適切な支援内容等について検討し、作成することになります。

これからは、サービス等利用計画を踏まえた個別支援計画にするために、広い視野と利用者ニーズを掴み取る洞察が必要になると思います。常に、質の高いサービスが提供出来るように心がけたいと思います。

白萩園 主任 原田 順子



より質の高いサービスを求めて

## 新しい田植え機の登場です

いよいよ今年も田植えが始まりました。白萩農園のスタッフは朝早くから田植えの準備をしてきました。

今年には皆さん楽しみにしていたことがあります。それは新しい田植え機の登場です。新田植え機は最新式の乗用4条植え田植え機で、高出力エンジン搭載、オペレータにやさしい機能で、美しい植え付けができる優れものです。大いに活躍してくれそうで、収穫が楽しみです。



新機) 乗用4条植田植え機



田植えの様子(後方は白萩園と菩提樹)

## 「ありがとう」 父の日感謝式

白萩園では六月十八日父の日感謝式が行われました。この行事はみのり村の年間行事の一つで毎年六月の第三月曜日に行います。

各施設のご利用者の代表が作文を朗読しそれぞれのお父さんに感謝の意を表しました。



いつもありがとう



感謝のこトば「ありがとう」

### 平成23年度ピンポン大会

福利厚生の一環として、旧菩提樹二階ホールにおいて、二日間にわたり「ピンポン交流会」が開催されました。菩提樹の施設サービスクラス、在宅支援課、総務課、総務企画課より多くの職員が参加し、思いがけないフェアプレイや珍プレイに、大きな声・大きな笑い声が会場一杯に溢れ、おおいに盛り上がり交流を深めました。

また、両日とも、大石副施設長から猪肉の差し入れがあり、炊き出し訓練を兼ねた「猪鍋」を有志で調理し、初めて猪肉を食べた方にも大好評でした。

在宅支援課 中原



応援にも熱が入ります



「猪鍋」大好評でした

### 「利用者様の笑顔が見たい」で発表

平成二十三年度大分県高齢者福祉施設等実践研究大会が二月三日別府湾ロイヤルホテルで開催され、菩提樹レクリエーション委員会が菩提樹代表として、「利用者様の笑顔が見たい」それぞれの楽しみを求めてのテーマで発表を行いました。

当施設の基本方針である利用者様の皆様に、安心、安全で居心地の良い空間、個人の尊厳に配慮した快適で上質なサービスの提供する上で、レクリエーション行事について再考し、他委員会との連携、協力で今まで以上に利用者様一人ひとりに楽しみ提供させて頂いたことで大きな成果を得られました。

### 【研究大会に参加して】

この度の実践研究大会に参加させて頂いたことで沢山のことを学ぶことが出来、他の施設の方の発表や講師の方の講演を聞くことで、菩提樹でもやっていこうと思えるものが沢山あり、参加して本当に良かったと思います。この大会で発表した経験を生かして、ご利用者のために良い行事が実施出来るように頑張りたいと思います。

菩提樹レクリエーション委員 森松 真央



実践研究発表会の様子

発表する曾我・森松介護職員



## 平成23年度 収支決算報告概要 貸借対照表

平成24年3月31日現在 単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動・固定資産	4,577,056	負債	556,658
		純資産	4,020,398
資産の部合計	4,577,056	負債の部及び純資産の部	4,577,056

### 事業活動収支計算書

(自)平成23年4月1日(至)平成24年3月31日 単位：千円

科目	金額	
事業活動収支の部	事業活動収入計	1,521,763
	事業活動支出計	1,192,328
	事業活動収支差額	329,435
事業活動外収支の部	事業活動外収入計	70,216
	事業活動外支出計	76,683
	事業活動外収支差額	- 6,467
特別収支の部	特別収入計	39,897
	特別支出計	33,229
	特別収支差額	6,668
授産事業活動の部	授産事業活動収支差額	3,460
当期活動収支差額		333,096

上記内容について、詳細を知りたい方は事務局までお問い合わせ下さい。

【総合福祉ケアサポートセンター みのり村】

- 障がい児から就労そして老後までの安心トータルサポート**
- 特別養護老人ホーム 菩提樹
  - ショートステイ事業
  - 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
  - ケアプランセンター ぼだいじゅ
  - ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
  - 配食サービス
  - 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
  - 直販所 えん(縁)
  - 農事組合法人 白萩農園
  - 障害児入所施設 第1みのり学園
  - 児童デイサービスセンター「プリンちゃん」
  - 障害者支援施設 第2みのり学園
  - 障害者支援施設 白百合園
  - 障害福祉サービス事業所 みのりスマイル
  - グループホーム しらゆり・さくら荘
  - みのり障がい者生活支援センター
  - 障害者支援施設 白萩園
  - 障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
  - グループホーム すみれ荘・しらはぎ
  - しらはぎ障がい者生活支援センター

# いつもありがとう

## 絵手紙教室

日出町の安東様より毎月第三木曜日、十三時半から約一時間、季節の花や野菜等を教材にして、教えて頂いています。

## バイオリン演奏

鹿児島在住の宗岡様より、五月二十四日十四時から、バイオリンで懐かしの唄等の演奏がありました。



心安らく音色です



絵手紙「完成です」

## 書き方教室

〜書く楽しみ、描く楽しさ〜

平成二十一年五月から始めた書写教室は指導者の中井知賀子様の協力も得て四年目に入りました。多くの参加者を得て月に二回開室しています。最初からの方は既に三百枚のプリントを消化しています。書写は「手本通りに模写する」という単純な繰り返しですが、筆順を覚え文字のバランス感覚を養うのです。正しく美しい文字は、あなた自身の財産です。人間だからこそ伝達方法としての文字文化を、そして手書きの美しさを後世に継承したいですね。



気持ちを集中させます

## フラワーズ

〜思い出の曲を〜

毎月第三火曜日の午後一時三〇分より、垣迫さんのピアノの伴奏で、堀さんが、美しい声で、懐かしい曲を、お二人の思い出を歌にのせ届けて頂いております。利用者の方々も、一緒に歌ったり、手拍子をとったり、リクエストをするなど、楽しいひと時を過ごされ、フラワーズの来日を楽しみにされています。



## 保育園とデイ利用者さんの交流

杵築中央保育園の園児たち四十名が交流会を致しました。大きな声での挨拶の後、元気な歌声を聞かせてくれました。



元気はつらつ中央保育園の皆さん

園児たちの発表を見てると自然と笑顔がこぼれ、お孫様を思い出された方も多かったです。「かわいいね」「元気やな」と園児たちに声をかけておられました。杵築中央保育園の皆さん、いつも元気なパワーをありがとうございます。また遊びに来てくださいね。

## 「新会計基準」に移行

平成二十四年四月一日、法人内全会計において、会計基準から新会計基準に移行しました。

### 【編集後記】

今夏における節電の要請期間がまもなく終わろうとしています。暑い夏でした。何とか乗り切ったとはいえ、この状態が長期化しないように、電力供給を一日も早く安定させ、安心して電気を使用できることを願います。施設でも節電に取り組みしました。私の課では、毎日朝礼をしています。朝礼当番は、日替わりです。皆さんからの予定を順に言ってもらった後に「司会者からの一言」があります。ここでも、司会者は「不要な電気は消しましょう」「昼食時は電気を消しましょう」等、節電に関する一言がありました。施設では使用電力数値が目に見えるようにして、節電管理を行ってきました。その結果昨年より電力量を大幅に抑えることが出来ました。今夏、「節電」を施設職員全員がとり組んで成果を得たことに、嬉しさある「確信」を感じた夏でした。

編集・発行／本部総務課

〒八七三〇〇〇一三  
 大分県杵築市大字日野一九二一七  
 TEL 〇九七八一六六一二〇〇  
 FAX 〇九七八一六一二一九七四  
 URL http://www.minorimura.or.jp/  
 E-mail info@minorimura.or.jp

(写真掲載等には、ご本人様の了解を得ております。)